



## 安全データシート

Copyright, 2019, 3M Company

All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	08-6165-8	版	11.02
発行日	2021/01/04	前発行日	2016/07/14

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

3M<sup>™</sup> ウレタンボデーシーラー ソーセージパック 8654

#### 3M スtockナンバー

JS-3000-4246-7

#### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

引火性液体： 区分4

呼吸器感作性物質： 区分1

皮膚感作性物質： 区分1

生殖毒性： 区分1

発がん性： 区分2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分2

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分2

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

危険

##### シンボル

健康有害性

## ピクトグラム



## 危険有害性情報

H227	可燃性液体
H334	吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
H351	発がんのおそれの疑い。
H371	臓器の障害のおそれ： 感覚器。
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 神経系。

## 注意書き

## 安全対策

P201	使用前に取扱説明書入手すること。
P210	熱／火花／裸火／高温物体のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P285	換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P281	指定された個人用保護具を使用すること。

## 応急措置

P304 + P341	吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P342 + P311	呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P370 + P378G	火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

## 3. 組成及び成分情報

成分	CAS番号	重量%
ウレタンプレポリマー	営業秘密	15 - 40
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	10 - 30
フィラー、ピグメント	営業秘密	10 - 30
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	3 - 7
酸化チタン(IV)	13463-67-7	3 - 7

可塑剤	営業秘密	1 - 5
添加物、触媒	営業秘密	0.5 - 1.5
溶剤	営業秘密	0.5 - 1.5
エチルベンゼン	100-41-4	1.6
キシレン	1330-20-7	2.4

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

### 特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素  
二酸化炭素  
刺激性蒸気あるいはガス  
窒素酸化物

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

### 消火作業員の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、

自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。適切な水成膜泡消火薬剤（A F F F）を推奨する。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。密閉容器に収納する。金属製の容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用途への販売、使用禁止。密閉された換気不良の場所で使用しないこと。安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後は手指をよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。指定された個人保護具を使用する。蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

### 保管

水や空気から避けるため、容器はしっかりと密閉する。水や空気と接触したことが疑われる場合は、容器を再密閉しない。日光から遮断すること。熱から離して保管する。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

#### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エチルベンゼン	100-41-4	ACGIH	TWA : 20 ppm	
エチルベンゼン	100-41-4	ISHL	TLV (8時間) : 20 ppm	
エチルベンゼン	100-41-4	JSOH OELs	TWA (8時間) : 217 mg/m <sup>3</sup> (50 ppm)	
キシレン	1330-20-7	ACGIH	TWA : 100 ppm、STEL : 150 ppm	
キシレン	1330-20-7	ISHL	TLV (8時間) : 50 ppm	
キシレン	1330-20-7	JSOH OELs	TWA (8時間) : 217 mg/m <sup>3</sup> (50 ppm)	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	TWA : 10 mg/m <sup>3</sup>	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA (呼吸性ダストとして) (8時間) : 1mg/m <sup>3</sup> 、 TWA (総ダストとして) (8 時間) : 4mg/m <sup>3</sup>	
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	ACGIH	TWA (呼吸性分画) : 1mg/m <sup>3</sup>	
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	JSOH OELs	限界値は未設定	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

## 保護具

### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

サイドシールド付安全メガネ

### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

### 呼吸用保護具

ばく露状況評価で吸入保護具が必要と判断された場合には、吸入防止手順に従って、以下のものから呼吸保護具を選択する。

有機ガス及び微粒子に適している半面形あるいは全面形ろ過式マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
形状、色、臭い	溶剤臭、白
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	64.6 °C [試験方法: クローズドカップ法] [詳細: セタ]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度	データはない。
密度	1.26 g/ml
比重	1.26 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	4 - 8 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

### 避けるべき条件

火花ないし炎

### 混触危険物質

アミン類  
アルコール類  
水

危険有害な分解物  
物質

条件

知見はない。

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

硬化時に放出される蒸気は眼を刺激するおそれがある。症状は発赤、浮腫、痛み、涙及び眼のくもりあるいはかすみ目。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。アレルギー性呼吸器反応：呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感などの症状。キ その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

聴覚への影響：聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りなどの症状。

長時間又は反復暴露した場合：

吸入による長期ないし反復ばく露の恐れがある

神経への影響：性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

**発がん性**

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

**毒性データ**

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

**急性毒性**

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
フタル酸ジイソデシル	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
フタル酸ジイソデシル	吸入-粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 12.5 mg/l
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	ラット	LD50 > 9,700 mg/kg
ポリ塩化ビニル	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリ塩化ビニル	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入-粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
キシレン	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,200 mg/kg
キシレン	吸入-蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 29 mg/l
キシレン	経口摂取	ラット	LD50 3,523 mg/kg
エチルベンゼン	皮膚	ウサギ	LD50 15,433 mg/kg
エチルベンゼン	吸入-蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 17.4 mg/l
エチルベンゼン	経口摂取	ラット	LD50 4,769 mg/kg

ATE=推定急性毒性

**皮膚腐食性及び皮膚刺激性**

名称	生物種	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	ウサギ	わずかな刺激
ポリ塩化ビニル	専門家による判断	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
キシレン	ウサギ	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	軽度の刺激

**眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性**

名称	生物種	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	ウサギ	軽度の刺激
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
キシレン	ウサギ	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	中程度の刺激

**皮膚感作性**

名称	生物種	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	モルモット	区分されない。

	ト	
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分されない。
エチルベンゼン	ヒト	区分されない。

### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	In vitro	変異原性なし
フタル酸ジイソデシル	In vivo	変異原性なし
ポリ塩化ビニル	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
キシレン	In vitro	変異原性なし
キシレン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

### 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ポリ塩化ビニル	特段の規定はない。	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
キシレン	皮膚	ラット	発がん性なし
キシレン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
キシレン	吸入した場合	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチルベンゼン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性

### 生殖毒性

#### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 927 mg/kg/day	2世代
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 929 mg/kg/day	2世代
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 38 mg/kg/day	2世代
ポリ塩化ビニル	特段の規定はない。	発生毒性は区分されない	マウス	NOAEL 非該当	妊娠期間中
キシレン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分されない	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
キシレン	経口摂取	発生毒性は区分されない	マウス	NOAEL 非該当	器官発生期

キシレン	吸入した場合	発生毒性は区分されない	多種類の動物種	NOAEL 非該当	妊娠期間中
エチルベンゼン	吸入した場合	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 4.3 mg/l	交配前および妊娠中。

## 授乳に対するまたは授乳を介した影響

名称	経路	生物種	値又は判定結果
キシレン	経口摂取	マウス	乳汁を介した影響および授乳による影響は分類されない。

## 標的臓器

## 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
キシレン	吸入した場合	聴覚系	臓器への影響	ラット	LOAEL 6.3 mg/l	8 時間
キシレン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	眼	区分されない。	ラット	NOAEL 3.5 mg/l	非該当
キシレン	吸入した場合	肝臓	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	眼	区分されない。	ラット	NOAEL 250 mg/kg	適用しない。
エチルベンゼン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
エチルベンゼン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
エチルベンゼン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	

## 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フタル酸ジイソデシル	吸入した場合	呼吸器系   造血器系   肝臓   腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 週
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	内分泌系	区分されない。	ラット	NOAEL 686 mg/kg/day	90 日
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	肝臓   腎臓および膀胱   心臓	区分されない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	90 日
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	造血器系	区分されない。	イヌ	NOAEL 320 mg/kg/day	90 日
ポリ塩化ビニル	吸入した場合	呼吸器系	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 0.013 mg/l	22 月
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
キシレン	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露によ	ラット	LOAEL 0.4	4 週

	場合		り組織に悪影響を及ぼす。		mg/l	
キシレン	吸入した場合	聴覚系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 7.8 mg/l	5 日
キシレン	吸入した場合	肝臓	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	心臓   内分泌系   消化管   造血器系   筋肉   腎臓および膀胱   呼吸器系	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	経口摂取	聴覚系	区分されない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	2 週
キシレン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 1,500 mg/kg/day	90 日
キシレン	経口摂取	肝臓	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	心臓   皮膚   内分泌系   骨、歯、爪及び/又は毛髪   造血器系   免疫システム   神経系   呼吸器系	区分されない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/day	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	造血器系	区分されない。	ラット	NOAEL 3.4 mg/l	28 日
エチルベンゼン	吸入した場合	聴覚系	区分されない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	5 日
エチルベンゼン	吸入した場合	内分泌系	区分されない。	マウス	NOAEL 3.3 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	消化管	区分されない。	ラット	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪   筋肉	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 4.2 mg/l	90 日
エチルベンゼン	吸入した場合	心臓   免疫システム   呼吸器系	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	経口摂取	肝臓   腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 680 mg/kg/day	6 月

#### 吸引性呼吸器有害性

名称	値又は判定結果
キシレン	吸入有害性
エチルベンゼン	吸入有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことが

あります。 セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

## 生態毒性

### 水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

### 水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	緑藻類	推定値	96 時間	EC50	>100 mg/l
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	緑藻類	推定値	96 時間	NOEC	>100 mg/l
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	>100 mg/l
ポリ塩化ビニル	9002-86-2		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ(魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	大西洋トウゴロイワシ	実験	96 時間	LC50	5.1 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	緑藻類	実験	96 時間	EC50	3.6 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	アミ	実験	96 時間	LC50	2.6 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	4.2 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.8 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.96 mg/l
キシレン	1330-20-7	緑藻類	推定値	73 時間	EC50	4.36 mg/l
キシレン	1330-20-7	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2.6 mg/l
キシレン	1330-20-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	3.82 mg/l
キシレン	1330-20-7	緑藻類	推定値	73 時間	EC10 - 成長速度	1.9 mg/l
キシレン	1330-20-7	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.96 mg/l
キシレン	1330-20-7	ニジマス	実験	56 日	NOEC	>1.3 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	74 % BOD/ThBOD	OECD 301F
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	データ不足			N/A	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	データ不足			N/A	
エチルベンゼン	100-41-4	実験 光分解		光分解半減期(空气中)	4.26 日 (t 1/2)	別法
エチルベンゼン	100-41-4	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発	70-80 重	別法

3M<sup>™</sup> ウレタンボデーシーラー ソーセージパック 8654

				生	量%	
キシレン	1330-20-7	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90-98 % BOD/ThBOD	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	実験 BCF-Carp	56 日	生物濃縮係数	<14.4	OECD 305E- 生態濃縮 魚類
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
酸化チタン(IV)	13463-67-7	実験 BCF-Carp	42 日	生物濃縮係数	9.6	別法
エチルベンゼン	100-41-4	実験 BCF-その他	42 日	生物濃縮係数	1	別法
キシレン	1330-20-7	実験 BCF-ニジマス	56 日	生物濃縮係数	25.9	別法

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

本SDSの適用法規の内容は、2018年7月1日施行の改正労働安全衛生法に基づいて記載されています。

主な法規制物質

成分	安衛法通知政令番号	P R T R 政令番号	毒物及び劇物取締法
エチルベンゼン	70 (エチルベンゼン)	第1種53 (エチルベンゼン)	該当なし。
キシレン	136 (キシレン)	第1種80 (キシレン)	該当なし。
酸化チタン(IV)	191 (酸化チタン(IV))	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：施行令18条有害物質 (表示物質)

消防法：指定可燃物 (可燃性固体類)

労働安全衛生法：施行令別表第三第二項 特化則第二類物質  
労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物  
P R T R法：第1種指定化学物質

## 16. その他の情報

### 改訂情報

セクション1：所在地 情報修正。  
セクション1：担当部門名 情報修正。  
セクション2：GHS分類 情報修正。  
セクション2：有害性ステートメント - 区分2 特定標的臓器毒性、反復暴露 情報修正。  
セクション2：有害性ステートメント - 区分2 特定標的臓器毒性、単回暴露 情報修正。  
セクション2：健康有害性 情報修正。  
セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正。  
セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正。  
セクション2：注意喚起語 情報修正。  
セクション3：成分表 情報修正。  
セクション3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報の削除。  
セクション4：応急措置（急性・遅発性症状） 情報修正。  
セクション4：応急措置 - 医療機関への報告（REACH/GHS） 情報修正。  
セクション4：応急措置（眼に入った場合）の情報 情報修正。  
セクション4：応急措置（飲み込んだ場合）の情報 情報修正。  
セクション4：応急措置（吸入した場合）の情報 情報修正。  
セクション4：応急措置（皮膚の接触した場合）の情報 情報修正。  
セクション4：毒性学的影響のテキスト 情報修正。  
セクション5：火災時情報（消火法） 情報修正。  
セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正。  
セクション5：火災時情報（特殊有害性） 情報修正。  
セクション5：燃焼時有害性の表 情報修正。  
セクション6：封じ込め及び浄化の方法及び機材 情報修正。  
セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正。  
セクション6：事故漏出時の措置 情報修正。  
セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正。  
セクション7：貯蔵情報 情報修正。  
セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正。  
セクション8：職業暴露情報 情報修正。  
セクション8：作業環境許容値 情報修正。  
セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正。  
セクション8：保護具 - 眼 情報修正。  
セクション8：保護具 - 吸入 情報修正。  
セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正。  
セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸用保護具のガイド 情報修正。  
セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正。  
セクション8：STL記号 情報修正。  
セクション8：TWA記号 情報修正。  
セクション9：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正。  
セクション9：分解温度 情報修正。  
セクション9：融点/凝固点 情報修正。  
セクション9：蒸発速度情報 情報修正。

- セクション 9 : 燃焼性 (固体、ガス) 情報 情報修正.
- セクション 9 : 燃焼点 (下限) 情報 情報修正.
- セクション 9 : 燃焼点 (上限) 情報 情報修正.
- セクション 9 : 引火点情報 情報修正.
- セクション 9 : n-オクタノール/水分配係数の情報 情報修正.
- セクション 9 : 臭気限界 情報修正.
- セクション 9 : 臭い、色、グレード情報 情報修正.
- セクション 9 : pH情報 情報修正.
- セクション 9 : 追加性状に関する記載 情報修正.
- セクション 9 : 比重情報 情報修正.
- セクション 9 : 溶解性 (水以外) 情報修正.
- セクション 9 : 水溶解性のテキスト 情報修正.
- セクション 9 : 蒸気密度の値 情報修正.
- セクション 9 : 蒸気圧 情報修正.
- セクション 10 : 反応性情報 情報修正.
- セクション 10 : 有害分解物 情報修正.
- セクション 10 : 避けるべき条件 情報修正.
- セクション 10 : 有害な分解物の表 情報修正.
- セクション 10 : 有害な重合反応の性状 情報修正.
- セクション 10 : 避けるべき物質 情報修正.
- セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
- セクション 11 : 追加毒性情報のステートメント 情報修正.
- セクション 11 : 発がんハザードの情報 情報修正.
- セクション 11 : 発がん性の表 情報修正.
- セクション 11 : 分類放棄声明 情報修正.
- セクション 11 : 表テキストに非開示の成分 情報修正.
- セクション 11 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (眼) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (飲み込んだ場合) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (吸入した場合) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (皮膚) 情報修正.
- セクション 11 : 授乳影響の表 情報修正.
- セクション 11 : 長時間又は反復暴露した場合の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 11 : 生殖発生影響のテキスト 情報修正.
- セクション 11 : 生殖毒性の情報 情報修正.
- セクション 11 : 生殖毒性の表 情報修正.
- セクション 11 : 呼吸感作性のテキスト 情報修正.
- セクション 11 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション 11 : 単回ばく露時の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 11 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション 11 : 皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション 11 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション 11 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
- セクション 12 : 水生生物への急性毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 危険性の分類 情報修正.
- セクション 12 : 成分生態毒性情報 情報の追加.
- セクション 12 : 生物濃縮性に関するデータテキストなし 情報の削除.
- セクション 12 : 成分の生態毒性に関するデータテキストなし 情報の削除.

- セクション 1.2 : 材料の生態毒性に関するデータテキストなし 情報修正.
- セクション 1.2 : 残留性および分解性に関するデータテキストなし 情報の削除.
- セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報の追加.
- セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報の追加.
- セクション 1.3 : 廃棄物の処理ノート 情報修正.
- セクション 1.4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 1.5 : 法規名 - 表 情報修正.
- セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.
- セクション 1.6 : UK放棄声明 情報修正.
- セクション 1.6 : Webアドレス 情報修正.

免責事項：この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートへの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートへの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

**3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**